HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	国立国会図書館関西館〈上海新華書店旧蔵書〉の連環画
Author(s)	中野, 徹
Citation	連環画研究, 2, 60-61
Issue Date	2013-03-10
DOI	https://doi.org/10.14943/2115.98392
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/98392
Type	departmental bulletin paper
File Information	renkanga_2_60-61.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

『連環画研究』第２号　2013 年３月

国立国会図書館関西館〈上海新華書店旧蔵書〉の連環画

中野　徹

連環画は、武田雅哉氏をはじめとする個人のコレクションを除けば、日本国内には、大学図書館や研究機関の一部に蔵書がわずかにあるだけである。しかし、日本には最大規模の連環画コレクションを有する図書館がある。国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町）だ。

国立国会図書館関西館には、東京の本館から移管された中国書のほかに、「上海新華書店旧蔵書」と呼ばれるコレクションがある[1]。これは、上海新華書店が保管していた中国書の見本約 17 万冊からなるもので、1930 年代から 1990 年代初めまでの、毛沢東やマルクス・エンゲルスの著作集、啓蒙書、実用書、古典文学、現代文学、連環画など、すべての分野の書籍が収められている。これらの表紙や裏表紙には「見本」を意味する“様本”、“様書”という印が押されていることから、納本制度によって出版社から新華書店に収められていたことが窺える[2]。しかし、同コレクションは、見本とはいえ、下線や書き込みなど、多数の人に読まれていた形跡があり、保存状態は決して良好とはいえない。これらの書籍の大半は、国立国会図書館関西館に収められる時にすでにぼろぼろだったようだ。

この上海新華書店旧蔵書のうち、特に異彩を放つのが、連環画コレクションである。国立国会図書館関西館には、約 4000 タイトルの連環画が所蔵されている（一部は国際こども図書館に移管）。この連環画コレクションは、1950 年代の連環画が五割、60 年代、70 年代が一割、80 年代が二割を占めており[3]、これらの連環画のなかには、入手困難かつ資料的価値を有する貴重な版本も多い。

この連環画は、国立国会図書館の「NDL-OPAC」で検索ができ、関西館で書庫資料を請求すれば、同館内のアジア情報室アジアカウンタで受け取り、館内閲覧ができる。また、書籍の保存状態にもよるが、著作権法の範囲内で複写も可能だ。

上海新華書店旧蔵書の連環画コレクションを調べるうえで、非常に便利な目録がある。鴇田潤「上海新華書店旧蔵書連環画書名一覧」（『アジア情報室通報』第 9 巻第 4 号、2011 年 12 月）である。この目録は、国立国会図書館のホームページの「リサーチ・ナビ」からもアクセス（http://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/bulletin9-4-1.php）可能だ。国立国会図書館の「NDL-OPAC」の検索画面で、この一覧にある五桁の数字を入力することにより、より簡単に資料にアクセスすることも可能なのだ。連環画研究に必携の工具書といえるだろう。

国立国会図書館関西館の上海新華書店旧蔵書には、連環画以外にも、政治運動、批判キャンペーン、公衆衛生、科学知識の普及など、他の日本の大学図書館にない書籍や版本が多く所蔵されている[4]。同館では、CNKI（China National Knowledge Infrastructure）こと、「中国学術文献オンラインサービス」の「中国期刊全文数拠庫」（中国学術雑誌全文データベース）の閲覧・プリントアウトが可能である。これらのデジタル化資料と一次資料とを活用すれば、連環画研究はさらに進むであろう。

文学作品の改編作としての連環画研究、連環画出版研究、連環画作家、絵師の研究はもちろんのこと、連環画に描かれる図像分析をもとに、社会研究、風俗研究、政治運動の再評価など、さまざま角度からの研究資料として活用が期待される。上海新華書店旧蔵書は、連環画のみならず、時代を読み直すための資料の「宝庫」なのだ。

国立国会図書館関西館へのアクセス
所在地：京都府相良郡精華町精華台 8-1-3
最寄り駅
・JR 学研都市線祝園駅／近鉄京都線新祝園駅から
奈良交通バス
「36　祝園駅　光台循環」「国立国会図書館」下車
「41 または 47　学研奈良登美ヶ丘駅行」「光台一丁目」下車
精華くるりんバス「アピタ・コーナン前」下車
・近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅
奈良交通バス
「41 または 47　祝園駅行」「光台一丁目」下車

注

1 上海新華書店旧蔵書については、「上海新華書店旧蔵書（当館の蔵書から 22)」(『国立国会図書館月報』504 号、2003 年 3 月号）参照。また、拙稿「上海新華書店旧蔵書──中国の連環画を中心に」。

2 中国における納本制度については、「山西省文化局関於征集図書、雑誌、報紙様本辦法的通知」(『山西政報』1959 年 10 期）など、その存在が認められるが、上海新華書店内部で見本本がどのような扱いをされていたかは不詳。

3 鴇田潤「上海新華書店旧蔵書連環画書名一覧」(『アジア情報室通報』第 9 巻第 4 号)。

4 「NDL-OPAC」の検索結果に同名の書籍がヒットすることがある。関西館の上海新華書店旧蔵書は、国立国会図書館の分類記号のうち、〈請求記号〉が「ＸＰ」から始まっている。「ＸＰ」に続くＡからＤは、書籍の大きさを表し、Ａは小型（縦 20 ㎝未満)、Ｂは中型（縦 20 ㎝以上 27 ㎝未満)、Ｃは大型（縦 27 ㎝以上 32 ㎝未満)、Ｄは規格外（縦 32 ㎝以上または横 24 ㎝以上）という。判型とともに、連環画かどうかを見分けるヒントになる。関西館資料部アジア情報課（鴇田潤）「上海新華書店旧蔵書遡及入力の終了について」(『国立国会図書館月報』547 号、2006 年 10 月号)。